

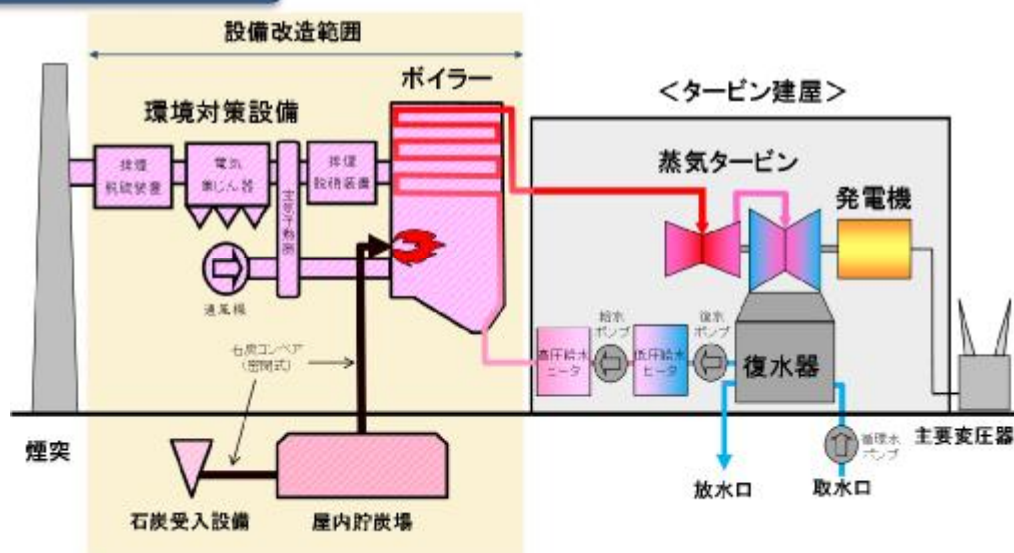
環境影響評価概要書の概要

事業の概要

- 事業の名称
赤穂発電所におけるボイラー・燃料設備改造
- 事業実施区域
兵庫県赤穂市加里屋字東沖手 1062 番地
(面積：約 48 万 m²)
- 出力
現 状：1、2号機 各 60 万 kW
将 来：1、2号機 各 60 万 kW
- 燃料
現 状：重油・原油
将 来：石炭
- 運転開始時期
平成 32 年度（予定）



発電所設備の概念図



将来のイメージ



環境影響評価の主な内容

●事業に係る環境影響評価の対象項目

影響要因		環境要素
工事	・建設機械の稼働、 ・造成等の影響	大気質、騒音、振動、水質、土壌汚染、産業廃棄物、残土
	・工事車両	大気質、騒音、振動、人と自然との触れ合いの活動の場
施設の存在		陸生植物、陸生動物、景観
供用	・施設の稼働	大気質、騒音、振動、低周波音、水質、温室効果ガス
	・関係車両	大気質、騒音、振動、人と自然との触れ合いの活動の場、 産業廃棄物
	・廃棄物の発生	

●調査・予測の手法

発電所の設備改修工事や運転によって影響が予想される大気や水質等について、文献調査及び現地調査により現況を把握したのち、数値計算等により影響を予測し、環境保全に対して配慮すべき事項を検討します。

●評価の手法

環境保全についての配慮が適正になされているかを検討します。また、環境基準や環境保全上の規制基準等との整合が図られているかを検討します。

(参考) 環境影響評価の手続

